

科学技術週間企画「一家に1枚 鉱物」ポスターの制作：日本鉱物科学会の取り組み

A poster "Minerals for every home" (Ikka-ni-1-mai-koubutsu): Application, acceptance and construction work by Japan Asso

奥山 康子^{1*}, 宮嶋 敏², 鮎沢潤³, 赤井純治⁴, 川手新一⁵, 貴治康夫⁶, 黒澤 正紀⁷, 田中陵二⁸, 土山 明⁹, 長瀬 敏郎¹⁰, 宮島 宏¹¹, 宮脇律郎¹², 山田隆¹³

Yasuko Okuyama^{1*}, Satoshi Miyajima², Jun Aizawa³, Junji Akai⁴, Shin-ichi Kawate⁵, Yasuo Kiji⁶, Masanori Kurosawa⁷, Ryoji Tanaka⁸, Akira Tsuchiyama⁹, Toshiro Nagase¹⁰, Hiroshi Miyajima¹¹, Ritsuro Miyawaki¹², Takashi Yamada¹³

¹ 産業技術総合研究所, ² 埼玉県立深谷第一高校, ³ 福岡大学, ⁴ 新潟大学, ⁵ 私立武蔵高等学校・中学校, ⁶ 大阪府立箕面東高等学校, ⁷ 筑波大学, ⁸ 相模中央化学研究所, ⁹ 京都大学, ¹⁰ 東北大学, ¹¹ 糸魚川フォッサマグナ・ミュージアム, ¹² 国立科学博物館, ¹³ 日本医科大学

¹Institute for Geo-Resources and Environment, ²Saitama Prefectural Fikaya Dia-ichi High School, ³Fukuoka University, ⁴Niigata University, ⁵Musashi High School and Junior High School, ⁶Osaka Prefectural Minoo-higashi High School, ⁷University of Tsukuba, ⁸Sagami Central Chemical Laboratory, ⁹Kyoto University, ¹⁰Tohoku University, ¹¹Itoigawa Fossa Maguna museum, ¹²National Science Museum, ¹³Japan Medical University

いわゆる「一家に1枚」ポスターは、科学技術週間に科学に親しむための素材として文科省が制作し、全国の科学系博物館・展示館で配布されるポスターで、2005年の「一家に1枚 周期表」を皮切りにこれまで毎年発行されている。2013年度のポスター企画は、2012年6月に公募された。日本鉱物科学会は、この企画が公募制になった2009年度以降、日本地球惑星科学連合の教育問題検討委員会（当時）の意向を受ける形で、学会の教育普及委員会を中心に準備を進めてきた。そして昨年6月の公募に応じて企画採択にこぎつけ、本年4月の科学技術週間に向け、ポスターおよびWEB配信される補足説明資料の制作実務に当たってきた。ポスターは文科省予算で20万枚以上が印刷され、およそ3/5が博物館等で科学技術週間を中心に配布、同じく2/5が全国の小・中・高等学校に教育用に配布される。このように「一家に1枚」ポスターは非常に波及効果の大きな普及活動といえるもので、今後も地球惑星科学のアウトリーチ活動として積極的に活用したい企画ということが出来る。本講演では、日本鉱物科学会による「一家に1枚 鉱物」ポスターの概要を解説する。本ポスターは「地球と宇宙の宝物」という副題を持ち、博物学的に美しい鉱物を紹介するだけでなく、惑星科学や生物学などとも関係した先端科学の研究題材であることを紹介する点が、特徴である。講演では、地球惑星科学の他テーマをたてて本企画に応募する際の参考となるよう、企画採択までの取り組みをあわせて紹介したい。なお、本ポスターは地惑連合大会期間中にも鉱物科学会ブースにて配布の予定である。

キーワード: 科学技術週間, 一家に1枚ポスター, 日本鉱物科学会, 鉱物, 地球惑星科学

Keywords: Science and Technology Week, Ikkani-1-mai poster, Japan Association of mineralogical Sciences, Mineral, Earth and planetary science